

広報仁木 5

北海道仁木町広報紙／令和6年5月16日発行 通算834号

令和6年
2024



特集

仁木町すこやか子育て支援センター
「ikor -イコロ」完成

すべては未来の子どもたちのために



みんなの想いを形に

安心して子育てできる町へ

多様化する子育て支援のニーズや、施設の老朽化など、子育て支援施設の整備が喫緊の課題となる中、町は施設の整備に向けたプロジェクトをスタート。ニーズ調査などをもとに、新施設の整備構想の策定や設計を行い、子育て世代の想いを形にしていきました。

ニーズ調査では、町の子育て環境に関する要望も収集しており、保育園と放課後児童クラブを併設してほしいといった意見や、子どもたちが自由に遊べるスペースの設置、子育ての情報が得られる交流の場の拡充など、多くの要望が寄せられました。

この調査結果をもとに、町は令和元年度に施設の整備構想を策定。構想では、町内に点在している保育園、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点「おおきな木」

もたらすことを目指すことで、待機児童が生まれない環境の整備を目指しました。また、育児相談や親子交流等が更に図られるよう、地域子育て支援拠点「おおきな木」に飲食可能なスペースを設置することなど、より充実するものとしました。

令和2・3年度に行つた設計でもこの構想を踏襲し、加えて施設のコンセプトを「みんなのおうちをつくります」に設定。学び・遊び・交流・集団生活を通じて、想像力やおもいやり、自発性などを育むことができるような空間づくりを細部にわたるまで考え、設計に盛り込んでいました。

工事は順調に進み、令和5年12月に竣工。3ヶ月間の移行準備を経て、令和6年3月より運営をスタート



子どもたちは町の宝もの

そして着工、完成へ



上：新施設着工時の地鎮祭の様子。鍬入れの儀を行なう佐藤町長と横関議長
左：完成したイコロの全景

完成

仁木町すこやか子育て支援センター「ikor - イコロ」

令和6年3月。計画段階から足掛け5年の時を経て、町の新たな子育て支援拠点施設「仁木町すこやか子育て支援センター『ikor - イコロ』」が完成し、運営をスタートさせました。

今月号では、同施設が完成するまでの道のりや概要、これから展望などについて、特集します。

多様化する子育て支援ニーズ

近年の人口減少や少子高齢化、地域との関係の希薄化、子育て世代の共働きの増加などにより、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、それに伴って、全国的に子育て支援に対するニーズが多様化しています。

このような状況下で、仁木町は、結婚・妊娠・出産・育児から教育に至るまで切れ目のない支援に取り組んできましたが、定住者への住宅建築補助や移住支援金、幼児保育の無償化など様々な地方創生の取組により移住者数が増加し、それに比例して保育園や放課後児童クラブの利用希望者が増加。その結果、保育園の入園を

ニーズ調査（以降「ニーズ調査」）では、子育てを「両親で行う」と回答した方が木町子ども・子育て支援施設は、町で子育てを行う上で、重要な位置付けであり、加えて、女性の社会進出が進む中、一層の拡充が必要であることがわかりました。

建設工事は令和4年8月にスタート。この間、新施設の名称と愛称を募集し、応募があつた中から、名称については井内煌士さん（当時仁木中1年生）より応募があつた「仁木町すこやか子育て支援センター」に、愛称は小林由香利さん（当時仁木中3年生）より応募があつた「ikor（イコロ）」に決定しました。

この「イコロ」はアイヌ語で「宝」を意味し、町の宝である子どもたちがすこやかに育つてほしいという想いが込められたものであります。「良い所・良い心」という語呂合わせにもつなっています。

さあ、子育て世代の想いがついに形となりました。

上：新施設着工時の地鎮祭の様子。鍬入れの儀を行なう佐藤町長と横関議長
左：完成したイコロの全景

施設紹介

キーマンに聞く

園長 細田正幸さん

事務局長 佐藤昌紀さん

仁木町長 佐藤聖一郎



新しい施設をこれからどのようにいかしていくのか。にき保育園と地域子育て支援拠点「おおきな木」を運営する園長の細田さん、放課後児童クラブと小型児童館を運営する仁木町社会福祉協議会事務局長の佐藤さんにお話を聞きました。

保育園については、施設が広くなつたことで、これまで旧園舎ではできなかつた年齢に応じた活動ができるようになります。特に、年長組は学習室が設置されたため、就学に向けた活動を行つていきます。

また、施設規模としては、80人まで入園可能となつたことから、待機児童が発生しないよう保育士の確保に努めるなど、町のニーズに応えていきたいと考えています。

地域子育て支援拠点「おおきな木」も併設されたので、保育園に入園されていないお子さまがいる保護者の方に、保育園の雰囲気をつかんでもらい、入園に当たつての不安が解消されるよう取り組んでいくとともに、様々な講習会を引き続き開催しながら、内容を充実させていきます。

町のニーズに応え、継続してきたものを更に充実

町民と共に創り上げ、長く愛される施設にしたい

社会福祉協議会が運営するという強みをいかし、昔遊びなどを通して子どもと高齢者が交流できる場を創出します。また、学力向上を図るため、放課後学習塾的な取組も検討しています。

そのほかにも様々な取組を検討していますが、一気に全てやると飽きられてしまう可能性があるので、まずはできるところから少しずつ増やしていき、長く愛され、楽しめる施設にしたいと考えています。

家庭の事情は様々ですが、施設が子どもたちにとって平等に使うことができ、家、学校に次ぐ「第3の居場所」となるよう、保護者の皆さまと一緒に取組を進めるとともに、放課後児童クラブと児童館を連携させ、より良い形を模索していきます。

これからも持続的な子育て支援を

10年前に日本創成会議が公表した消滅可能性自治体リストでは、本町は将来消滅の可能性がある町と位置付けられていましたが、これまでの子育て支援策や移住支援等が功を奏し、今年4月に人口戦略会議が公表した新たなリストにおいて、消滅可能性自治体から脱却することができました。これに満足せず、持続的な子育て支援に取り組むとともに、この度完成した施設が更により良いものとなるよう、関係機関と連携を密に図りながら、第6期仁木町総合計画のサブタイトルにある「すべては未来の子どもたちのために」まい進してまいります。



施設を利用しているお母さんにも聞きました



2つの放課後児童クラブ室を設置し、その間には支援員室を設け、両室を管理できる配置としています。



にき保育園の保育士・職員の皆さん

新施設へお引っ越し

3月1日と22日の両日に、放課後児童クラブとにき保育園が引っ越し作業を行いました。





町で起きた あんな事! こんな事! まちの話題

町内のできごと、行事、イベントなどを写真付きで紹介。町では広報紙、ホームページ、SNSなどへ掲載のため、撮影・取材活動を行っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



仁木小交通安全教室の様子。交通安全指導員に教えてもらいながら楽しく学びました

4月20日、コンサドーレ仁木パークゴルフ場が今シーズンのオープンを迎えるました。オープンに当たり、20日と21日の2日間は無料開放され、延べ85名の方が来場し、時折コース内から、「ナイスショット!」と賑やかな掛け声が響いていました。

パークゴルフ場がオープン



パークゴルフを楽しむ来場者

4月12日から30日にかけ、仁木小学校、銀山小学校及び大江へき地保育所において、交通安全教室が開催されました。

交通安全教室では、余市警察署仁木駐在所の片岡所長や銀山駐在所の錦巡査部長、仁木町交通安全

推進委員会の交通安全指導員の皆さんのが指導に当たり、信号機の見方、横断歩道の渡り方、自転車の交通ルールなどを学びました。指導に当たった片岡所長は「車は急に止まることができません。車道への飛び出しは絶対に行わないようにしましょう。また、自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶってくださいね」とお話しされていました。

町内で交通安全教室を開催

交通事故にあわないために

春のJR仁木駅周辺清掃

仁木町高齢者事業団

4月29日、仁木町高齢者事業団（丸谷健二理事長）が、春の恒例行事であるJR仁木駅周辺の清掃作業を行いました。

当日は、13名の団員が参加し、およそ2時間、駅周辺のごみ拾いや花壇の手入れ、草刈りに汗を流しました。

理事長の丸谷さんは「駅がきれくなれば観光客的好感度も上がると思うので、今後も続けていきたい」とお話ししていました。



①交通安全表彰式にて受賞者と記念撮影。下段左より鈴木交通安全協会会長、佐藤町長、三浦さん、大洞さん、鈴木余市警察署長、上段左より、佐々木交通課長、片岡仁木駐在所長、錦銀山駐在所巡査部長。欠席された深澤さんと中西さんについては、後日事務局より表彰状が伝達された②鈴木余市警察署長から感謝状を贈呈される交通安全協会の鈴木会長

4月26日、仁木町交通安全推進委員会（佐藤聖一郎会長）と仁木町交通安全協会（鈴木保会長）が、4月16日をもって死亡交通事故ゼロの日1000日を達成したことにより、鈴木余市警察署長から感謝状を贈呈されました。

感謝状を受け取った交通安全推進委員会会長の佐藤町長は「今後も町内での交通事故根絶に向け、決意を新たに、各種交通安全運動に取り組みたい」と挨拶。交通安全協会の鈴木会長も「当協会としても身に余る光栄。今後更なる取

組を推進したい」と喜びの言葉を述べていました。

また、同日には、仁木町交通安全協会も執り行われ、交通安全全表彰式も執り行われ、交通安全の推進に功労のあった4名の方に表彰状が授与・伝達されました。

受賞された方は次のとおりです。

- 札幌方面交通安全協会会長表彰
・深澤 彰吾さん
- 余市地区交通安全協会連合会長表彰
・中西 勇さん
- 仁木町交通安全協会会長表彰
・大洞 忠義さん
- 仁木町交通安全協会会長表彰
・三浦 菊夫さん

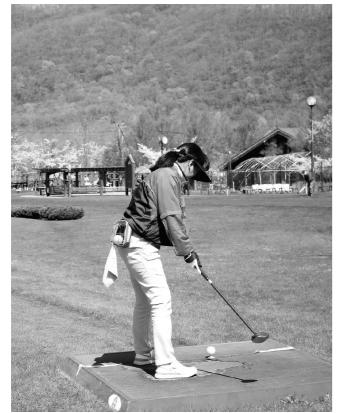
命を守る大切な約束

なかよしクラブ・安心警ら隊

4月24日、町内のボランティア団体、なかよしクラブ・安心警ら隊（中川博喜隊長）と仁木駆在所の片岡所長が、仁木小学校新1年生の下校見守り活動を行いました。下校を前に、隊長の中川さんは「入学おめでとうございます。皆さんは仁木町の宝です。絶対に事故にあわないよう、横断歩道を渡るときは、車が来ていないかきちんと安全確認を行いましょう」と挨拶され、新1年生は元気の良い返事でそれに応えていました。



新1年生は安心警ら隊の皆さんと一緒に楽しく下校しました



パークゴルフを楽しむ来場者



丁寧な作業でとてもきれいになりました

仁木町子ども体験塾

始動します！

新規学生募集！

仁木町やすらぎ大学



①「どろんこ教室」②「多世代交流ふれあい教室・スノーキャンドルを作ろう」③「秋のハイキング大会」
それぞれの様子

子ども体験塾は様々な体験ができるイベントを通して、子ども達の体力向上や見識を広めること、地域との交流や友情と親睦を図ることを目的とする教育委員会主催の事業です。

令和6年度も町内外の社会教育関係団体等に協力いただき、5月18日に開催される「走り方教室」をはじめとした、月に1回（5月～3月）の仁木町子ども体験塾を開催します。本町を代表する観光資源であるワイ

ン産業について理解を深めてもらうことを目的とした、子ども体験塾特別講座の開催も引き続き予定しています。また、本年度から子どもがともに遊ぶ場所、機会を提供し、出会いと体験を大切にするため、eスポーツ体験会の開催を予定しています。

保護者と子どもが一緒に参加することができますので、是非お気軽にご参加ください。

令和6年度仁木町やすらぎ大学がまもなく開講します。当大学は生涯学習社会への移行に伴い、高齢者自ら今日の社会情勢の変化に応えるよう学習機会を設定し、うるおいのある生活を送ることを目的としています。

教育委員会では新規学生を随時募集しています。「興味はあるけれど、体験してから決めたい」という方は、見学からでも大歓迎です。会場とご自宅の往復が困難であれば、教育委員会職員が送迎いたします。

まずはお気軽に教育委員会までお問い合わせください。

まなびのスタート ブックスタート事業

親子でゆっくりふれあうひととき、絵本で「対話」を

今年度で21年目となるブックスタート事業は、6か月児・1歳6か月児健診の機会に、赤ちゃんと保護

者を対象に町内の読み聞かせと絵本2冊のプレゼントを行う、教育委員会主催事業です。

仁木町で育つ、かけがえのない子どもたち。一緒に時間を過ごし、愛情に満ちた「ことば」を語りかけることで、子どもたちは愛されていることを知り、喜びを感じます。

教育委員会では、絵本を通して赤ちゃんと保護者が温かく楽しいひとときを分かち合い、親子の心のふれあいを感じられるきっかけづくりを応援していくきます。

●児童・生徒作品集 創造

これまでを振り返って、そして六年生で頑張ること

銀山小学校 6年 斎藤 優生

私は五年生で成長したことがある。それは学習面のこと、特に算数のことだ。ずっと苦手だったし、楽しくないと感じていた。でも担任の先生に自学のやり方をたくさん教えてもらった。私は教えてもらってから自学のやり方を変えていった。また、先生に分からなくな

大変喜ばしい心温まる善意に深く感謝します。

善意に感謝します

大江3丁目の金子英治さんから、新小学1年生へ入学記念品として、お米（特別栽培米ななつぼし）1升を計30袋、仁木消防団仁木支署及び仁木町防犯協会からは文房具を寄贈していただき、仁木建設協会（仁木洋会長）から、交通安全や事故防止を目的として、町内の新小学1年生に自転車用ヘルメットを寄贈していただきました。

また、銀山小学校卒業生の奥村裕樹さんから、義務教育学校開校時に子どもたちに新しい本を買ってあげてほしいということで図書カード5万円分を寄贈していただきました。

大変喜ばしい心温まる善意に深く感謝します。



①金子英治さん（右）からお米の寄贈（左：岩井教育長）
②奥村裕樹さん（右）から銀小植木校長（左）へ図書カードの寄贈③仁木建設協会から寄贈されたヘルメット



●講座内容一例（予定）
保健師による健康講話・運動、音楽に親しむ、手芸等の作品作り、社会見学等

●期間
5月29日(水)～翌年3月5日(水)
(最終水曜日を基本に月1回)

●場所
仁木町民センター他
●対象者
町内に在住する60歳以上の方
●受講料
無料（教材費等一部負担の場合あり）

令和6年度仁木町やすらぎ大学がまもなく開講します。当大学は生涯学習社会への移行に伴い、高齢者自ら今日の社会情勢の変化に応えるよう学習機会を設定し、うるおいのある生活を送ることを目的としています。

教育委員会では新規学生を随時募集しています。「興味はあるけれど、体験してから決めたい」という方は、見学からでも大歓迎です。会場とご自宅の往復が困難であれば、教育委員会職員が送迎いたします。

まずはお気軽に教育委員会までお問い合わせください。



今年度で21年目となるブックスタート事業は、6か月児・1歳6か月児健診の機会に、赤ちゃんと保護

者を対象に町内の読み聞かせと絵本2冊のプレゼントを行う、教育委員会主催事業です。

仁木町で育つ、かけがえのない子どもたち。一緒に時間を過ごし、愛情に満ちた「ことば」を語りかけることで、子どもたちは愛されていることを知り、喜びを感じます。

教育委員会では、絵本を通して赤ちゃんと保護者が温かく楽しいひとときを分かち合い、親子の心のふれあいを感じられるきっかけづくりを応援していくきます。

●児童・生徒作品集 創造

これまでを振り返って、そして六年生で頑張ること

銀山小学校 6年 斎藤 優生

私は五年生で成長したことがある。それは学習面のこと、特に算数のことだ。ずっと苦手だったし、楽しくないと感じていた。でも担任の先生に自学のやり方をたくさん教えてもらった。私は教えてもらってから自学のやり方を変えていった。また、先生に分からなくな

大変喜ばしい心温まる善意に深く感謝します。

●児童・生徒作品集 創造

これまでを振り返って、そして六年生で頑張ること

銀山小学校 6年 斎藤 優生

私は五年生で成長したことがある。それは学習面のこと、特に算数のことだ。ずっと苦手だったし、楽しくないと感じていた。でも担任の先生に自学のやり方をたくさん教えてもらった。私は教えてもらってから自学のやり方を変えていった。また、先生に分からなくな

大変喜ばしい心温まる善意に深く感謝します。



自衛官募集

問 自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所 0134-22-5521

自衛隊では、18歳から32歳までの方を募集します。車両、船、飛行機を扱う仕事から事務や調理など職種は50種以上あります。詳しくは、上記までお問い合わせください。
※当事務所では、新型コロナウイルス感染予防対策を万全にして、説明会を随時行っています。

特集

まちの話題

教育委員会だより

町からのお知らせ

協力隊 今月の活動レポート

くらしの伝言板

まちのカレンダー

地域包括支援センターを民間委託します

問 地域包括支援センター 32-3855

平成19年から行政直営型で地域包括支援センターを運営していましたが、今年6月から、町民の皆さまの暮らしを更に包括的に支援することを目的に、経験豊富な専門職が充実した医療法人へ委託することとなりました。今後も地域で暮らす町民の皆さまの生活に密着した地域づくりを目指し、取組を推進してまいりますので、引き続きよろしくお願いします。詳細につきましては、今後周知します。



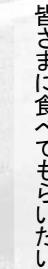
山田和史 隊員

地域おこし協力隊
今月の
活動レポート

Activity Report



月岡壮太 隊員



中野隆介 隊員



黒木賢二郎 隊員

聴かせてまちの声

問 総務課総務係 32-2511

町では、町民ニーズに応えるまちづくりを進めるために、より多くの町民の声を聴き、意見や要望の的確な把握に努めています。この一環として、ご意見ご要望の投稿をしていただく入力フォーム「聴かせてまちの声」を仁木町公式ホームページに設けました。

町民の皆さまが普段の生活の中で感じている町の様々な行政サービスに対するご意見やご要望をお聞かせいただき、行政運営に反映させていきたいと考えていますので、ご活用ください。

ホームページは
こちらから

●投稿方法

仁木町公式HPの「聴かせてまちの声入力フォーム」から投稿します。ご意見ご要望の内容に加えメールアドレス、お名前、ご住所、電話番号、などを入力し送信します。

●「聴かせてまちの声」として取り扱わない事項

- ・町の施策・事業と関係のないもの
- ・特定の個人及び団体を誹謗中傷するもの
- ・政治活動、宗教活動を目的としたもの
- ・宣伝など営利を目的としたもの
- ・公序良俗に反するもの
- ・同一若しくは類似する内容を繰り返すもの
- ・単なる問合せのもの（例：「サクランボフェスティバルの日程は→〇月×日です」など）

●返答

いただいたご意見ご要望には、2週間を目処に担当部署よりメールで返答します。返答内容は半年毎にまとめ、ホームページに対応状況等を公表します。

鳥獣被害防止対策機器補助金

問 産業課農村環境係 32-2515

町では、10アール以上の農地を所有する農業者を対象にアライグマ用箱わな、シカ用くくりわな、シカ侵入防止電気柵、シカ用音響・発光忌避機材の購入について一定の補助を実施しています。

アライグマ用箱わなは、補助率2/3（補助限度額8千円）で、わな獣免許持又は、アライグマ防除に係る講習受講が必要です。シカ用くくりわなは、補助率2/3（補助限度額5千円）で、わな獣免許持とわな保険の加入が必要です。わな獣免許取得の制度とあわせてご検討ください。シカ侵入防止電気柵は補助率2/3（補助限度額8万円）、シカ用音響・発光忌避機材は補助率2/3（補助限度額4万円）です。

また、補助した機器については、設置日数と捕獲した個体数などを町に報告していただく必要があります。有害鳥獣からの被害軽減は皆さま一人ひとりの力が重要です。

民生委員児童委員・主任児童委員

問 福祉課福祉あんしん係 32-2514

民生委員児童委員は地域に暮らす身近な相談相手として活動しています。暮らしに関すること、困ったこと、悩み事など気軽にご相談ください。

●民生委員児童委員

- ・村井 康男（稻園・協和・コスモス30）
- ・浅田 澄枝（日の出・中央1・ふれあい39）
- ・福井 祥子（中央2・銀座）
- ・森川 一美（中央3・中央4・中央5）
- ・前田友規子（金光・瑞穂・みずほ32・緑）
- ・乙茂内正悦（表通・旭台）
- ・尾島 洋子（西部・民生・東睦・種川・桜台）
- ・本田 治子（然別・砥の川）
- ・大原知恵美（大江）
- ・菊池 修身（銀山1・銀山2・銀山中央・銀山稻穂）
- ・芳岡 廣（銀山共栄・銀山3・ぎんれい36）
- ・加藤 浩子（長沢南・尾根内）

●主任児童委員

- ・東郷 昌弘（仁木地区・然別地区）
- ・菅 敦（大江地区・銀山地区）

住宅地などの農薬散布に注意

問 産業課農政係 32-2515

春から秋にかけて、農薬を散布する機会が多くなります。学校等の公共施設や住宅地付近の畠等では、周辺住民への健康被害が生じないように、通学時間等人通りの多い時間帯を避けたり、散布時に周囲の方へお知らせするなどの配慮をよろしくお願いします。

わな・獣銃免許等各種取得補助金制度

問 産業課農村環境係 32-2515

町では、エゾシカ等による農作業被害を軽減するため有害鳥獣対策に必要な資格取得に対する補助を行っています。

わな獣免許は1万4千円、第一種銃獣免許は1万7千円、獣銃所持許可は7万5千円が補助上限です。銃獣免許取得及び獣銃所持許可については50歳以下の方が対象です。

免許取得後10年間は、北海道獣友会仁木支部及び仁木町鳥獣被害対策実施隊への加入が必要で、狩獣免許及び獣銃取得後の狩獣方法、具体的な被害軽減対策についても先輩方がサポートします。

国民年金に関するお知らせ

●「年金振込通知書」が送付されます

国民年金・厚生年金は、4月・6月・8月・10月・12月・2月の年6回にそれぞれ前2か月分（6月に支給されるのは4月分と5月分の年金です）が支給されますが、その年度に支給される年金額をお知らせする「年金振込通知書」は、毎年6月に日本年金機構から送付されます。

この通知書は向こう1年間の年金額をお知らせするものです。なお、年度途中で年金額などに変更があった場合は、その都度お知らせが送付されます。

●年金事務所に相談に行かれる際にはご予約をお勧めします

小樽年金事務所では、予約による年金相談を行っています。

国民年金に係る照会や相談については、下記までお問い合わせください。

- 問 小樽年金事務所
- ☎ 0134（65）5002
- 問 住民環境課住民係
- ☎ (32)2513

余市警察署だより 安心・安全を実践しよう！

北海道警察では、皆さまの安心安全な生活を守るために日々努力しておりますが、その実現には、皆さまのご協力が必要不可欠です。このコラムでは、皆さまに実践していただきたい様々なポイントをご紹介しています。今月は、自転車の安全利用促進及び悪徳商法被害についてお話しします。

●自転車の安全利用の促進

自転車も 歩行者優先 安全走行

■自転車安全利用五則

- ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用



■交通ルール・マナーを守る

自転車は「軽車両」であり、車の仲間です。信号や一時停止、歩行者優先など交通ルールをしっかりと守り、交通事故防止に努めましょう。

■ヘルメット着用促進

自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。頭部の損傷は致命傷となったり、重度の後遺症が残る場合があります。必ずヘルメットを着用しましょう。

●悪徳商法の被害にあわないためのポイント

「悪質業者は、う・そ・つ・き！」

【う】うまい話を信用しない！

【そ】そだんする！

【つ】つられて返事をしない！すぐに契約しない！

【き】きっぱり！はっきり！断る！

仁木町内での事故発生状況

区分	件数	死者	負傷者
4月発生件数	0件	0人	0人
R6年累計	2件	0人	3人

交通事故死ゼロの日
R3.7.21～R6.4.30
R6.4.16に1000日を達成しました！

05

03

くらしの伝言板

6月は『外国人労働者問題啓発月間』です

国内には就労している外国人が多数いますが、その就労状況をみると、社会保険などの未加入や、適正な労働条件が確保されていないなどの問題が散見されます。

このような状況を踏まえ、外国人を雇い入れる際は、次の3点を確認してください。

- ①就労が認められる在留資格であること
- ②雇入れ・離職の際には、それぞれハローワークに届出を行うこと
- ③労働保険・社会保険などの加入をはじめ適正な雇用管理を行うこと

なお、厚生労働省では労働施策総合推進法に基づく、外国人労働者の適正な雇用管理のための指針を定めていますので、ご確認の上、外国人を雇用する際は、ルールを守って適正に雇用するようお願いします。

詳細につきましてはハローワーク余市（22-3288）までお問い合わせください。

01

善意に感謝

次の方々から、本町へ貴重なご寄附をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

- 滝上順子 様（余市町）より▼現金10万円
▼町振興目的として
- 金子英治 様（大江）より▼ななつぼし1升×30袋▼小学校入学記念品として
- 奥村裕樹 様（札幌市）より▼図書カード5万円▼銀山小学校児童の教育環境充実のため
- 仁木建設協会（仁木洋会長）様より▼自転車用ヘルメット▼小学校児童の交通安全のため

02

仁木町公益貢献賞

町では、町内在住55年以上、かつ88歳以上の永年在住者の皆さまへ、仁木町表彰条例の規定に基づき、賞状と記念品をお贈りしています。この度受賞された方は次の方です。



藤田 清司 様
(88歳/北町)



田中 宏 様
(88歳/北町)

木内 公人 様
(88歳/南町)

永年のご功労に感謝するとともに、心よりお祝い申し上げます。

※ご本人の希望により、木内様はご芳名のみの掲載とさせていただきます。

ひとの動き（令和6年4月30日現在 住民基本台帳より）

人口／2,999人（前月比+31） 男性／1,464人（前月比+19） 女性／1,535人（前月比+12） 世帯数／1,628世帯（前月比+28）
外国人人口／156人 男性／65人 女性／91人 世帯数／151世帯 ※外国人人口及び世帯数は外数です



まちのカレンダー

まちの『どうしたらしいいの？』は、以下の担当課までお問い合わせください。●令和6年5月

- 戸籍、出生・死亡、ごみなどのお問い合わせは **問** 住民環境課 ☎ 32-2513
 - 国保、介護、育児、健康相談などのお問い合わせは **問** 福祉課 ☎ 32-2514
 - その他、行政に関するお問い合わせは **問** 総務課 ☎ 32-2511

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

●行事名 会会場 問お問合わせ先 電話番号 メール 当番病院 歯科当番医 水道修

5月	16(木)	●広報『仁木』5月号発行問総務課 ☎32-2511 ●防災行政無線戸別受信機試験放送／①12:30・②18:30問総務課 ☎32-2511
	17(金)	
	18(土)	●仁木町子ども体験塾第1回講座「走り方教室」会 仁木小学校グラウンド／9:30～問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ ➡ 堀川管工設備工業 ☎23-3032
	19(日)	✚ 林病院 ☎22-5188 ➡ 山地設備 ☎090-3118-4433
	20(月)	
	21(火)	
	22(水)	
	23(木)	●無料あんしん法律相談 会 保健センター／13:30～14:30問 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※予約制
	24(金)	●運転免許更新時講習 一般講習／13:00～ 優良講習／14:30～会 余市町中央公民館問 余市警察署 ☎22-0110 ➡ 藤田設備 ☎080-3268-0706
	25(土)	●防災行政無線戸別受信機試験放送／①12:30・②18:30問総務課 ☎32-2511 ➡ 池田内科クリニック ☎23-8811 ➡ 長内水道配管 ☎32-2105
	26(日)	
	27(月)	
	28(火)	
	29(水)	●仁木町やすらぎ大学「入学式」会 町民センター／9:30～問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
	30(木)	●出張リカバリー会 役場会議室2／13:15～15:15問 福祉課 ☎32-2514 ※詳細は班回覧参照
	31(金)	●1歳・1歳6か月・3歳児健診、歯科健診 会 保健センター／13:00～問 福祉課 ☎32-2514 ※対象者のみ ●第2回ブックスタート事業 会 保健センター／14:20～問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
6月	1(土)	➡ Niki配管設備 ☎32-2647
	2(日)	➡ 黒川町整形外科クリニック ☎22-2447 ➡ 関組 ☎22-4782

6
月

- 行事名 会会場 問お問合わせ先 電話番号 メール 当番病院 歯科当番医 水道修理

3月 ●無料あんしん法律相談 会保健センター／15:30～16:30 問社会福祉協議会 ☎ 32-3959 ※予約制

4火 ●仁木フルーツの里キッチン友の会料理教室 会保健センター／10:00～ 問福祉課 ☎ 32-2514

5水

6木

7金 ●北海道対がん協会(特定健診・がん検診) 会 北海道対がん協会健診センター 問 福祉課 ☎ 32-2514 ※予約制

●運転免許更新時講習 違反・初回講習(合同実施)／13:00～ 優良講習／15:30～ 会余市町中央公民館 問余市警察署 ☎ 22-0110

8土 ☎ 内山設備 ☎ 23-2634

9日 + 森内科胃腸科医院 ☎ 32-3455

高橋配管設備 ☎ 22-5571

10月 + よいちクリニック ☎ 21-4570 (余市神社例大祭のため当番医)

11火

12水 ●離乳食教室 会 保健センター／10:00～ 問 福祉課 ☎ 32-2514 ※対象者のみ

13木 ●広報『仁木』6月号発行 問 総務課 ☎ 32-2511

14金

15土 ☎ 堀川管工設備工業 ☎ 23-3032

+ よいち整形外科クリニック ☎ 48-5000

16日 ☎ 山地設備 ☎ 090-3118-4433



 今月の表紙

写真は大江へき地保育所の交通安全教室の様子。「横断歩道を渡るときはみぎ見て、ひだり見て、もう一度みぎ見て」とおまわりさんが教えてくれたことを、児童はしっかりと実践し横断歩道を渡っていました。

交通安全教室で教わった命を守るために大切な約束。その約束をこれからもずっと守り、児童の皆さんのが悲惨な交通事故にあわず、健やかに成長していくことを心から願っています。（撮影場所／仁木地区）



広報仁木では、広報の表紙を飾る、町内の四季を切り取った写真を募集しています。デジタルカメラだけではなく、スマートフォンで撮影いたしました写真でも構いません。『とつておきの仁木町』の写真を、ぜひお寄せください。応募方法など詳しくは、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先 総務課広報交通係 ☎32-2511

広報
仁木表紙写真募集中

もしかして更年期障害！？

更年期の心と体の変化について

地域包括支援センター 保健師

ひらた かな
平田 佳菜

女性が閉経を迎える年齢は、個人差はありますが一般的に50歳頃で、その時期を挟んだ45歳～55歳の約10年間を「更年期」とい、その時期にホルモンのバランスが崩れることによって起こる諸症状を「更年期障害」といいます。今月は誰にでも起る可能性のある更年期障害について、「」紹介します。



●更年期障害が起こる仕組み

更年期障害は、身体的な要因と社会的・心理的な要因が複雑に絡み合って発症します。閉経に伴って卵巢の働きが低下することで、女性ホルモンの一つであり肌のつやや心を安定させてくれるエストロゲンの分泌が低下します。

エストロゲンの減少は身体的な要因の一つであり、社会的・心理的な要因としては、几帳面な性格であったり、自己犠牲的であったり、育児や介護等の負担が大きかつたり、家族関係の変化（親の死や子どもとの親離れ）等があります。これら様々な要因が重なり、日常生活に支障をきたし治療が必要になるものを更年期障害といい、支障をきたさないものを更年期症状といいます。

●更年期障害の症状

症状は、ホットフラッシュや精神症状（イライラ、不安、うつっぽさ）、肩こり、腰痛、関節痛、しびれ、動悸、むく下することで、女性ホルモンの一つであり肌のつやや心を安定させてくれるエストロゲンの分泌が低下します。すると女性は必ず閉経を迎えるため、ホルモンの分泌量が減少することから、大なり小なり上記のような諸症状はみられますが、症状が強く、日常生活に大きく影響が出る場合には、我慢せず医療機関へ受診することをお勧めします。

●実は男性にも起ります

更年期障害は女性特有のものではなく、男性も同様に、加齢やストレスにより男性ホルモン（テストステロン）の

分泌が低下し、前述のような諸症状が出現する場合があります。男性は、女性のように「閉経」等のサインがないことから、見逃されてしまう可能性もあるため、思い当たる点がある場合には、同じく我慢せずに医療機関へ受診することをお勧めします。

更年期障害と向き合うために、更年期障害の治療は、ホルモン補充療法や漢方薬による治療が主となっています。しかし、更年期障害の原因は社会的・心理的要因も大きいといわれているため、カウンセリング等を受けることでも症状を落ち着かせることができます。

治療が主となっています。しかし、更年期障害の原因は社会的・心理的要因も大きいといわれているため、カウンセリング等を受けることでも症状を落ち着かせることができます。

更年期障害の症状



更年期障害の症状は、ホルモン補充療法や漢方薬による治療のほか、カウンセリング、食事内容の見直し、運動の習慣化などが改善に効果的です！

●更年期障害と向き合うために
更年期障害の治療は、ホルモン補充療法や漢方薬による

治療が主となっています。更年期症状は改善、予防できるといわれています。更年期症状に関するお悩みがありましたが、気軽にご相談ください。